

1. 扁平角膜の親子例
○ 安田昌子、大木玲子、木村美乃梨、久保田敏昭（大分大）
2. 両外直筋後転術が奏効しなかった外斜視の検討
○ 八坂裕太、大木玲子、田村弘一郎、久保田敏昭（大分大）
3. Sagging eye syndrome 20 例の臨床像
○ 田村弘一郎、久保田敏昭（大分大）

4. 虹彩分離症の2例
○ 大塚貴瑛、福井志保、本村由香、清崎邦洋（別府医療センター）
5. 線維柱帯切除術単独と水晶体再建併用線維柱帯切除術の手術成績の比較
○ 石部智也、奇野祐二、久保田敏昭（大分大）
6. 当院での DSAEK の治療成績
○ 横山勝彦、佐藤義樹、石部智也、八坂裕太、川原花梨、久保田敏昭（大分大）

7. 著明な脈絡膜剥離をきたした MRSA による晩期バクテリウム感染症の1例
○ 川原花梨、岸 大地、横山勝彦、久保田敏昭（大分大）
8. 診断に苦慮した感染性強膜炎の1例
○ 佐々木研輔、門田 遊、吉田茂生（久留米大）
9. 内因性細菌性眼内炎に感染性心内膜炎を併発した1例
○ 久井貴博、中山恵介、堀之内みどり、林田 中、望月 學、池田康博（宮崎大）

10.ゼブラフィッシュにおいて Exosc2 欠損はヌクレオチド代謝バランスの不均衡を生じ発達障害の原因となる

- 八塚洋之^{1) 2)}、波田一誠²⁾、梅田涼平³⁾、森崎郁子²⁾、漆畑博太郎²⁾、島田達生⁴⁾、木許賢一¹⁾、久保田敏昭¹⁾、花田俊勝²⁾

1) 大分大眼科学 2) 大分大細胞生物学 3) 大分大神経生理学 4) 大分医学技術専門学校

11.アフリベルセプト抵抗 AMD に対するプロルシズマブへの切り替え効果

- 佐藤義樹、木許賢一、日野翔太、八塚洋之、糸谷真保、寄野祐二、久保田敏昭（大分大）

12.Pachychoroid neovascularopathy (PNV) に対する抗 VEGF 薬併用 PDT の治療成績

- 糸谷真保、木許賢一、佐藤義樹、寄野祐二、日野翔太、八塚洋之、久保田敏昭（大分大）

13.滲出型加齢黄斑変性 (nAMD) における網膜色素上皮裂孔 (RPEtear) の臨床的特徴

- 永田純也、塩瀬聡美、石川桂二郎、福井卓摩、狩野久美子、秋山正人、森賢一郎、和田伊織、海津嘉宏、中間崇仁、納富昭司、園田康平（九州大）

14.続発性黄斑円孔の手術成績

- 日野翔太、加納俊祐、中武俊二、田村弘一郎、岸大地、横山勝彦、木許賢一、久保田敏昭（大分大）

15.抗 VEGF 薬投与を行った若年者網膜中心静脈閉塞症の治療成績

- 岸 大地、木許賢一、横山勝彦、田村弘一郎、中武俊二、久保田敏昭（大分大）

16.Stickler 症候群に発症した裂孔原性網膜剥離の手術成績

- 木許賢一、岸 大地、大木玲子、久保田敏昭（大分大）、近藤寛之（産業医大）

『角膜表層移植と角膜内皮移植』

門田 遊（久留米大学病院 教授）

【抄録】

角膜表層移植は、角膜実質の欠損を補充するために行われる手術であり、古くから行われている ALK (Anterior lamellar keratoplasty)、角膜パーツ移植と共に手術方法の改良がなされ発展してきた DALK (deep anterior lamellar keratoplasty) がある。ALK は角膜実質の欠損部の厚みに合わせて移植を行う方法で、ホストの実質とドナー角膜実質の切開面は手動のため均一ではなく層間に混濁が残る。DALK はホストの角膜実質をほぼ切除してドナー角膜実質を全層移植するため、層間に混濁が生じにくい。久留米大学においては、角膜潰瘍穿孔、輪部デルモイド、再発翼状片等、欠損部の補充およびバリア目的には ALK を行い、円錐角膜、角膜白斑、角膜ジストロフィ等、視力改善を目的とする場合には DALK を行っている。角膜内皮移植は、角膜内皮障害による水疱性角膜症、移植片不全に対して角膜内皮細胞を補充するために行われる手術であり様々な術式が改良され、現在 DSEAK (Descemet's stripping automated endothelial keratoplasty) が最も安定して行える術式となり、当院でも DSEAK を中心に行っている。本講演では久留米大学で行っている角膜表層移植と角膜内皮移植の適応、方法について、実際の症例を呈示してお伝えしたい。